

授業科目名	法医学	担当教員	教授 竹下 治男（他 法医学講座教員全員及び嘱託講師）
開講年次・学期	3年後期	必修/選択	必修
開講形態	講義・実習	時間数/単位数	講義28時間・実習2時間
<b>授業概要</b>			
<p>法医学は医学の中では社会医学に属し、「法律が適正に運用されているか否か」，“社会の疾病”を対象とする応用医学である。</p> <p>法医学の講義は主に法医解剖例を資料として行われるが、臨床医を志す医学生にも実際に法医学の知識が必要となる。その内容は、死体现象、損傷、窒息、異常温度死、内因性急死、嬰兒殺、法医中毒学、血液型と個人識別等々の実務的なものから、死の判定、脳死、臓器移植、体外受精、遺伝子操作などの医の倫理を含めた社会的問題に至る広範な分野を取り扱う。</p>			
<b>G I O（一般目標）</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 死亡診断書（死体検案書）を法医学的に正確に記載する方法を修得する。</li> <li>2. 法医学的検査（中毒学的検査、血清学的検査、物体検査等）の意味を理解し、吟味できる能力を養う。</li> </ol>			
<b>S B O（行動目標）</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個体死や脳死の概念を正確に把握し、これらの相違が認識できる。</li> <li>2. 早期および晩期死体现象の特徴を理解し、死後経過時間や死亡時刻が推定できる。</li> <li>3. 創傷を観察し、その性状、程度、種類、凶器の種類、受傷機転等が正確に判断できる。</li> <li>4. 死因を決定するために死亡の原因となり得る損傷や疾病等の知識を修得し、国際疾病分類（ICD-10）に則した記載ができ、死亡の種類を原死因に基づいて正確に判断できる。</li> <li>5. 法医解剖を見学し、重要所見を見出し、必要な検査項目が選定できる。</li> <li>6. 薬毒物中毒の一般的知識を修得し、特に発生頻度の高い中毒については分析方法や得られた結果の吟味ができる。</li> <li>7. 広義の血液型の種類、遺伝形式等を学び一般的なABO式血液型やRh式血液型については自ら検査、判定ができる。</li> <li>8. 白骨の各種計測値から性別、身長、年齢等が推測できる。</li> <li>9. 歯牙の状況から年齢や個人識別に必要な所見が言える。</li> <li>10. 親子鑑定の意味を理解し、必要な検査項目の吟味および父権肯定確率が算出できる。</li> </ol>			
<b>成績評価の方法</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各講義終了後のスライド供覧等による小テスト。</li> <li>2. 事例検討型の筆記試験。</li> <li>3. 死亡診断書（死体検案書）の作成実習。</li> <li>4. 法医解剖の見学とレポート作成。</li> </ol>			
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 塩野 寛：臨床医のための法医学マニュアル 新興医学出版社</li> <li>2. 田中宣幸 他：学生のための法医学 南山堂</li> <li>3. 高取健彦：エッセンシャル法医学 医歯薬出版</li> <li>4. 岸紘一郎 他：法医血清学的検査法マニュアル 金原出版</li> <li>5. 永野耐造 他：現代の法医学 金原出版</li> <li>6. 厚生労働省編：死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル平成16年度版（財）医療研修推進財団</li> <li>7. Tedeschi：Forensic medicine, Saunders</li> <li>8. Casarett et al.:Toxicology, Macmillan</li> <li>9. Camps et al.:Gradwohl's Legal Medicine, Jones Wright &amp; Sons</li> <li>10. Prokop et al.:Forensische Medizin, Gustav-Fischer</li> </ol>			
<b>コア・カリとの関連</b>			
<p>A-1（1）医の倫理と生命倫理，A-1（2）患者の権利，A-1（3）医師の義務と裁量権，A-1（4）インフォームドコンセント，A-2（1）安全性の確保，A-2（2）医療上の事故等への対処と予防，B-（6）死と法，C-2（6）遺伝と遺伝子，C-3（4）生体と薬物，C-4（1）遺伝子異常と疾患・発生発達異常，E-（4）物理・化学的因子による疾患，E-（5）成長と発達，E-（7）人の死</p>			